

MITSUBISHI

三菱ルームエアコン
室外ベース凍結防止ヒーター
取付工事説明書

形名	仕様	
	電圧	電力
MAC-642BH	200V	110W
M21AAJ995		

付属部品（下側の取付図を参照して確認してください。）※取付け前に付属部品を確認してください。

① ヒーター	1	⑥ バンド	5	⑪ ファスナー	2
② アルミテープ	3	⑦ ソフトテープ	1	⑫ 配線図	1
③ ドレン穴ガード	2	⑧ 基板サポート	4		
④ 両面テープ	1	⑨ 制御基板	1		
⑤ 外気温センサー	1	⑩ コイル組み立て部品	1		

取付工事に関して（極低温多湿条件下で長時間暖房運転を行った場合に発生する恐れがある室外ベース凍結を防止するものです。）

※安全のため軍手など保護具を着用してください。

※電気部品に直接触れますので雨天降雪時など、電気部品が濡れると故障の原因になりますので十分注意して取付工事を行ってください。

※室外ユニットは直接地面に設置しないでください。

既に直接地面に設置されている場合は、架台などを使用して再度設置してください。（凍結を抑制するため。）

安全のために必ず守ること

- 取付け前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとはお客さまがいつでも見られる所に必ず保管してください。

△警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

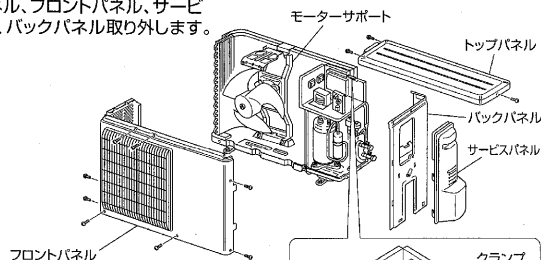
- お客さま自身で取付けはしない。
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 取付け部品は必ず付属部品および指定部品を使用する。
取付けに不備があると、火災・感電によるケガの原因になります。

△注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

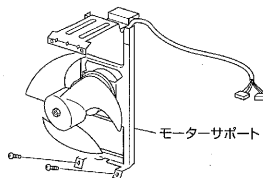
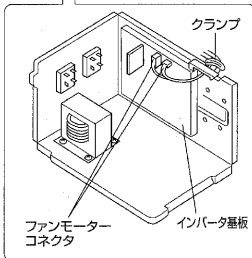
- アース工事を行う。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。
アース工事に不備があると、感電の原因になります。
- 据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断器を取付ける。
漏電遮断器が取付けられていないと、感電の原因になります。

1 ヒーター取付準備

- (1) 最初にエアコン専用プレーカーを必ず切り取ります。
- (2) トップパネル、フロントパネル、サービスパネル、バックパネル取り外します。

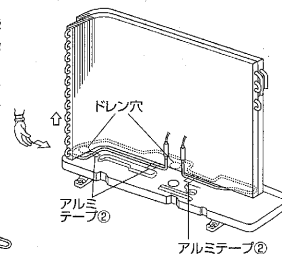


- (3) 電気品箱内のインバータ基板からファンモーターのコネクタを抜き、電気品箱後ろのクランプを解いて、モーターサポートを取り外します。



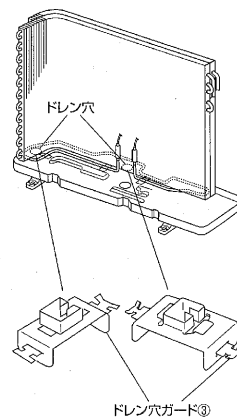
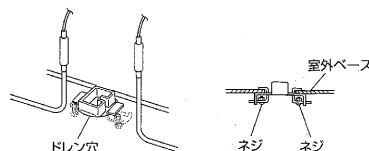
2 ヒーター取付

- (1) 図のように熱交換器の左下を持って、熱交換器を少し持ち上げ、ヒーター①を熱交換器の下に差し込みます。
- (2) アルミテープ②でヒーター①を固定します。
注※アルミテープ②はドレン穴を塞がないように貼り付けてください。



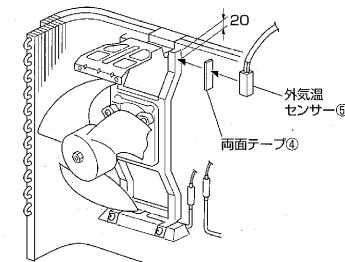
3 ドレン穴ガードの取付

- (1) 3カ所のドレン穴のうち、ヒーター①の内側にあるドレン穴2カ所にドレン穴ガード③を取り付けます。
ベースの下面からドレン穴ガード③を図のように差し込みます。
- (2) ドレン穴ガード③のネジが付いている部品を動かして、ドレン穴につめを引っ掛け、室外ユニット下側からネジを締め付けて固定します。

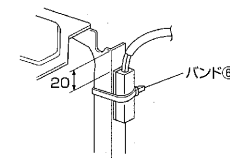


4 外気温センサーの取付

- (1) 最初に取り外したモーターサポートを元どりに取り付け、ファンモーターのコネクタも元どりにインバータ基板に取り付けます。
- (2) 図のようにモーターサポート右上の側面の位置に、両面テープ④を使用して、外気温センサー⑤を貼り付けます。



- (3) 外気温センサー⑤をバンド⑥で固定します。
注※外気温センサーが運転中に外れますと、プロペラファンに接触する恐れがありますので、必ずバンド⑥で固定してください。
バンド⑥の残りしろは切断してください。

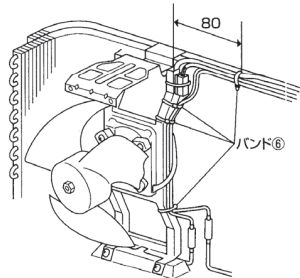


裏面につづく

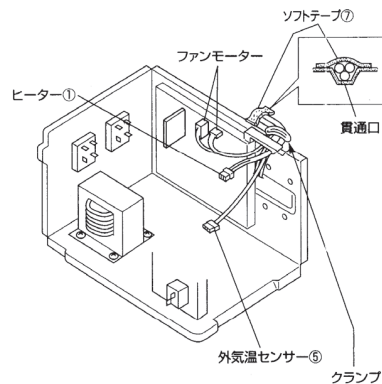
5 リード線の固定

- ヒーター①とファンモーターのリード線を図のようにたるまないようモーターサポートにバンド⑥3本で固定します。
- ヒーター①、外気温センサー⑤、ファンモーターのリード線を図のようにたるまないようバンド⑥で固定します。

注※リード線がたるみますと、プロペラファンに接触する恐れがありますので、必ずバンド⑥で固定してください。
バンド⑥の残りしろは切断してください。

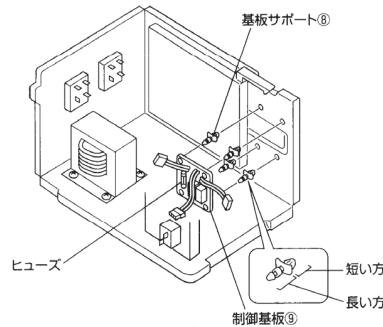


- 図のように貫通口にリード線を通し、ソフトテープ⑦で固定します。さらに電気品箱後ろのクランプで固定します。



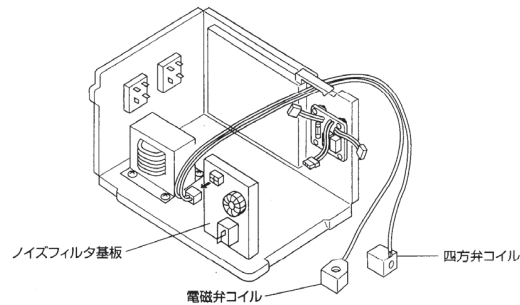
6 制御基板の取付

電気品箱の右奥側に図のように基板サポート⑧を差し込み(短い方が板金側、長い方が基板側)、制御基板⑨を取り付けます。(ヒューズ側が左)



7 四方弁、電磁弁コイルの取付

- 四方弁コイルと電磁弁コイルからノイズフィルタ基板に接続されているコネクタを取り外します。

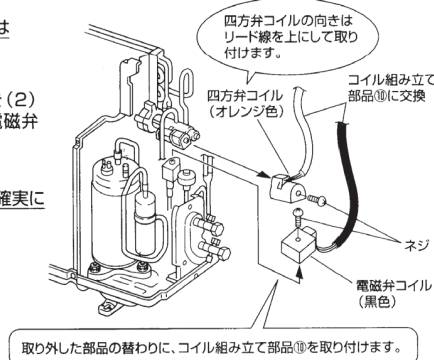


- 図のように、配管部分の四方弁コイルと、電磁弁コイルを上部のネジ(各1本)を緩めて取り外します。

注※取り外したコイル(2個)は使用しません。

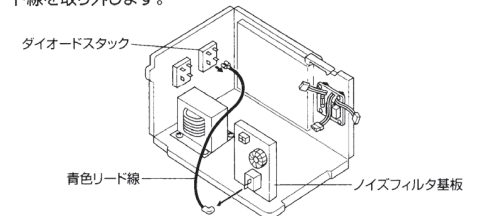
- コイル組み立て部品⑩を(2)で取り外した四方弁と電磁弁に取り付けます。

注※ネジは緩みがないように確実に締め付けてください。

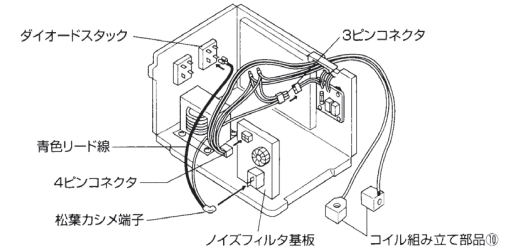


8 配線接続

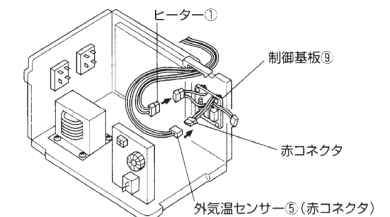
- 電気品箱内のノイズフィルタ基板のリレーからダイオードスタックに接続されている青色リード線を取り外します。



- 7で交換したコイル組み立て部品⑩の4ピンコネクタをノイズフィルタ基板に接続します。3ピンコネクタを制御基板⑨のコネクタに接続します。
- 2本のリード線が松葉カシメされている端子を、ノイズフィルタ基板のリレー端子に接続して、青色リード線の先端の端子を、ダイオードスタックに接続します。



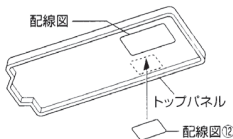
- ヒーター①と外気温センサー⑤のコネクタをそれぞれ制御基板⑨に接続します。
注※コネクタが確実に差し込んであることを確認してください。



- ファスナー⑪を使用して、その他の電気部品にリード線が触れないように固定します。

9 最後に...

- トップパネルの内側に貼ってある配線図の下に、並べて配線図⑫を貼り付けます。



- 最初に取り外した、バックパネル、フロントパネル、トップパネル、サービスパネルをそれぞれ元どおりに取り付けます。
- エアコン専用ブレーカーを入れます。
注※室外ユニット付属部品のドレンソケットは取付けられません。